

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	生活環境保全事業			
予算科目	4 款 1 項 5 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 環境の保全			
所管課情報	担当課: 市民生活課		電話番号(内線): 535	
記入者情報	所属長: 出来 和人		担当責任者: 窪田 春樹	
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】 平成 25 年度 【開始年度】 設定なし			
事業の対象	市内全域			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、伊予市廃棄物の処理及び清掃に関する条例、伊予市環境美化条例			
事業の目的	先人達から受け継いだ素晴らしい自然を次の世代へ引き継ぐ責務に気付き、市民・事業者・行政が協働して、良好な環境の中で市民生活を営むことができるよう、豊かな環境がもたらす財産を守るための持続的な活動に取り組む。			
事業の内容	市民清掃等により生じる廃棄物の処理、不法投棄の防止に向けた啓発			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	0	3,552	2,134	2,154
	人件費	0	4,881	2,440	4,881
	合計	0	8,433	4,574	7,035
人件費 内訳	人工数	0.00	0.60	0.30	0.60
	人件費単価	0	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	0	4,881	2,440	4,881
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	8,433	4,574	7,035

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
クリーン伊予運動	回	-	1	1	1
可燃系廃棄物処理	台(千円)	-	15(473)	9(299)	9(299)
不燃系廃棄物処理	台(千円)	-	19(1,397)	20(1,613)	20(1,613)
不法投棄防止看板配布数	枚	-	20	17	25

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	16,000

成果指標				
成果指標	大規模な不法投棄件数(件)			
指標設定の考え方	環境保全に向けた意識向上のバロメーターとして設定。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目 標	-	0	0	0
実 績	-	0	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	市民主体による一斉清掃の実施は、参加者自らが循環型社会の一員であるとの意識や、参加者同士の交流を通じて環境美化意識の養成に一定の効果を発揮していると考えられる。しかし、参加者の固定化も懸念されていることから、今後も継続的に事業を実施し、単身者世帯の方々に参加を呼びかけるなど、日ごろ地域活動への関わりが薄い方への浸透を図り、参加者を増やして参りたい。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	市民一人ひとりが地域の環境を考え、地域の清掃に参加し、環境の美化に貢献している意識を持つことにより、全体の美化へつながっていくものと考えられるので、幅広い年齢層への啓発が必要になってくる。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申	
外部評価 (行政評価委員会)	

経営者会議の最終判断	
事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	